

ニプロケアファストLink[®]

【警告】

1. 適用対象 (患者)

- 1) プラリドキシムヨウ化メチルを投与中の患者において、実際の血糖値より高値を示すおそれがあるので、プラリドキシムヨウ化メチルを投与中の患者における血糖測定値に対する影響について、事前に製造販売業者から情報を入手すること。[プラリドキシムヨウ化メチルを投与中の患者で、実際の血糖値よりも高値を示すことがあり、その偽高値に基づきインスリン等の血糖降下剤を投与することにより、昏睡等の重篤な低血糖症状があらわれるおそれがある。]
- 2) 本機器は、原則として患者自身が自宅等で血糖値を測定する場合に使用すること。

【禁忌・禁止】

1. 使用方法

- 1) 5～45℃の乾燥した場所で使用し、温度変化の激しい場所での使用は避けること。また、使用環境(測定環境)に十分になじませてから使用すること。[急激な温度や湿度の変化により、正しい測定結果が得られないおそれがある。]
- 2) 故障、又は誤作動等の原因となるおそれがあるため、下記の点に注意すること。
 - (1) 直射日光あるいは熱源近くに長期間放置しないこと。
 - (2) 水気のあるところでは使用しないこと。
 - (3) センサ挿入部には、ほこり、血液、水分などを入れないこと。
 - (4) 本品を落下させないこと。
- 3) コンセントから直接充電する場合は、専用ACアダプタ以外で充電しないこと。[充電池又は本体がショートし使用不能となるおそれがある。]

【形状・構造及び原理等】

1. 形状・構造

本品は自己血糖測定を行う際に用いる測定機器で、微量の血液によって血糖値を測定するものである。



*操作ボタン

- ボタン：電源のON/OFF、サブメニューの呼び出し、各種設定項目の決定。
- ←ボタン：メニュースクロール、前の画面に戻る。
- ▲ボタン：画面上側へのスクロール、時刻/アラーム設定の際、時間を進ませる。測定準備完了表示において、本ボタンを押し続けるとコントロール液測定モードに移行する。
- ▼ボタン：画面下側へのスクロール、時刻/アラーム設定の際、時間を戻す。
- ▶ボタン：メニュースクロール。

【メイン表示画面】



2. 仕様

- 測定範囲 : 20～600mg/dL
測定可能回数：充電1回あたり約300回 (月1回は充電してください)
充電可能回数：約300回
電撃保護 : 内部電源機器
記憶容量 : 測定1000回分 (自動記憶)
外形寸法 : 幅 約59mm、厚み 約15mm、高さ 約128mm
重量 : 約96g (電池重量を含む)

3. 原理

本品は、血糖測定用電極(以下、「センサ」という)と組み合わせて使用し、血液中のグルコース(血糖値)を測定する機器である。本品は、アンペロメトリー法を採用した酵素電極法を利用しており、試料中のグルコースとグルコースデヒドロゲナーゼ (GDH) が反応し発生する電流量を測定することで、試料中のグルコース濃度を測定する。

【使用目的又は効果】

本品は自己検査用に血中グルコース濃度を測定する測定器である。

【使用方法等】

1. 使用方法

1) 穿刺準備

- (1) 単回使用自動ランセット (以下「穿刺針」) および採血用穿刺器具 (以下「穿刺器具」) の準備を行います。

2) 測定準備

- (1) センサをセンサ挿入部にセットします。自動的に本品の電源が入ります。
- (2) 上記操作の他、本品の電源をONにし、センサをセンサ挿入部にセットしても測定準備が行えます。

3) 穿刺

- (1) 穿刺針および穿刺器具を用いて穿刺を行い必要血液量を得ます。

4) 測定

- (1) センサの血液吸入部を血液に触れさせます。自動的に血液が吸引され、表示モニタが測定画面に切り替わります。
- (2) 約5秒後、画面上に測定値が表示されます。

5) 使用後の処理

- (1) 測定終了後、センサ排出レバーをスライドさせセンサを排出します。(自動的に電源が切れます。)
- (2) 感染防止に留意し、安全な方法でセンサを廃棄します。

取扱説明書を必ずご参照ください。

6) 充電の方法

(1) パソコン（起動状態）からの充電

本品のマイクロUSBポートとパソコン(起動状態)のUSBポートにマイクロUSB端子を接続し、充電してください。本品をパソコンと接続すると、本品はパソコンとの接続を感知し、画面上に充電マークを表示して充電を行います。

(2) コンセントからの充電

専用の充電用クレードルにマイクロUSB端子を接続し、充電してください。コンセントに差し込むと本品は電源との接続を感知し、画面上に充電マークを表示して充電を行います。

また、本品のマイクロUSBポートとACアダプタにマイクロUSBケーブルを接続することでも充電ができます。

2. 組み合わせて使用する体外診断用医薬品

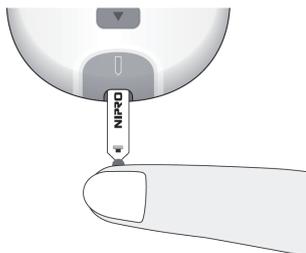
本品は以下の専用センサと組み合わせて使用します。

1) 販売名 : ニプロCFセンサ

承認番号 : 22700EZ00030000

<使用方法等に関連する使用上の注意>

1. センサの電極部、センサ挿入部にはなるべく触れないでください。
2. センサは中央部を持って確実に挿入してください。
3. センサの血液吸入部を血液に触れさせる際、下図のように出血させた指等を下側にし、センサ挿入部に血液が付着しないよう、血液をセンサに吸入させてください。[センサ挿入部に血液が付着した場合、故障、又は誤作動が発生する、又は正確な測定結果が得られないおそれがあります。]



4. 測定結果は血糖値が20mg/dL未満の場合は「Low」を、601mg/dLを超える場合は「High」を表示し、測定値は表示されません。
5. 測定が始まったら、それ以上血液を取り込ませないでください。
6. センサの折り曲げ、落下、水ぬれに注意してください。
7. 電池残量が少なくなると、電池残量マークが表示されるので早めに付属の充電器等で充電してください。
8. センサは1回限りの使用です。
9. 内蔵の充電池が経時劣化すると測定回数が減少する場合があります。疑問が生じましたら製造販売業者までお問い合わせください。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- 1) 指先から採血する場合は、穿刺前に必ず流水でよく手を洗うこと。
- 2) 果物等の糖分を含む食品などに触れた後、そのまま指先から採血すると指先に付着した糖分が血液と混じり、血糖値が偽高値となるおそれがある。[アルコール綿による消毒のみでは糖分の除去が不十分との報告がある。]
- 3) 以下のような末梢血流が減少した患者の指先から採血した場合は、血糖値が偽低値を示すことがあるため、静脈血等他の部位から採血した血液を用いて測定すること。
 - ・脱水状態
 - ・ショック状態
 - ・末梢循環障害

4) 本品及びセンサで測定を行った結果、自覚症状と合わない等測定値に疑問を感じた場合は速やかに再測定を行うこと。再測定後も疑問が残る場合は、かかりつけの医療機関等に相談すること。

5) 電子レンジ、テレビ、携帯電話、低周波治療器など電磁波を発生する電子機器の近くで使用する場合は、電子機器の電源を切るか、できるだけ離れた位置で使用すること。[誤作動が生じる、又は正確な測定結果が得られないおそれがある。]

6) 血液量が不十分な場合、正しい測定結果が得られないおそれがあるので注意すること。

7) ヘマトクリット値が高い(65%を超える)、又は低い(15%未満)場合は、正確な測定結果が得られないおそれがあるので注意すること。

8) エラー画面が表示された場合には取扱説明書のトラブルの対処の項を参照し、適切な対応をとること。

9) 購入後初めて使用する前に必ず充電すること。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

水ぬれに注意し、直射日光、高温多湿を避けて保管すること。

【保守・点検に係る事項】

1. 使用者による保守点検事項

1) 以下のような場合には、ニプロCFコントロール液を用いた動作チェックを行うこと。

- (1) 本品を落としたり、ぶついたりしたとき。
- (2) 測定値がおかしいと感じたとき。(予想した血糖値よりも著しく低すぎたり高すぎる数値が表示されたとき。)

2) 本品の外部を拭く場合は、柔らかい布を用いること。ベンゼンやアセトンのような有機溶剤、又は家庭用・工業用洗剤は、本品に損傷を与えるおそれがあるため使用しないこと。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

**製造販売(お問い合わせ先)

ニプロ株式会社

フリーダイヤル : 0120-834-226 24時間 365日 電話を受け付けております。(電話番号をよくお確かめの上、おかけ頂きますようお願い致します。)

・平日17:30~翌日9:00/土・日・祝は、サービス内容が限られます。

当フリーダイヤルでは、お客様に適切な対応をさせていただくために個人情報をお伺いしております。必要な情報を頂けない場合には適切な対応等ができない場合があります。

製造(輸入先)

i-SENS, Inc.

大韓民国

[Republic of Korea]



ニプロ株式会社